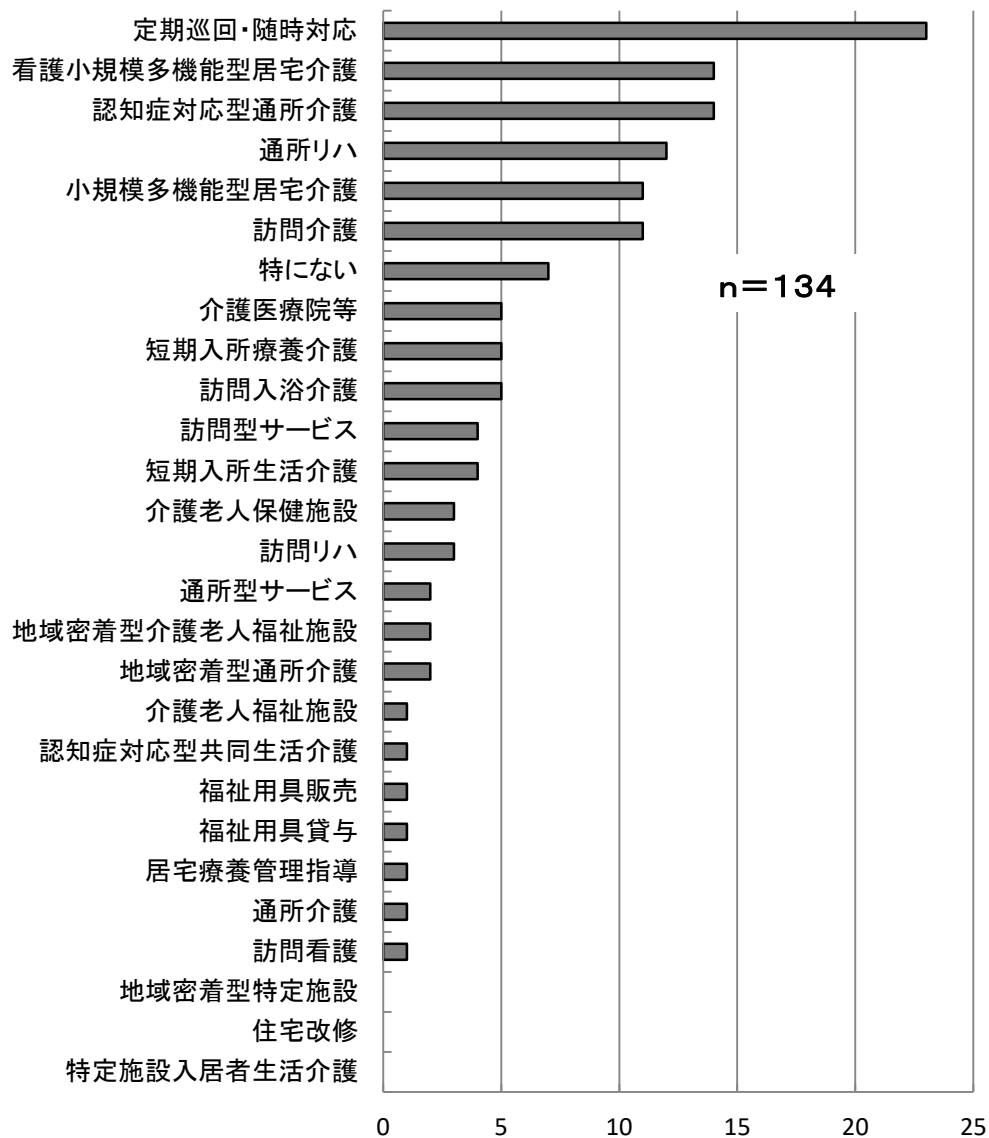


# 居宅介護支援事業所実態調査の見える化

# 居宅介護支援事業所実態調査の見える化

## 量的に不足しているサービス



・市内の居宅介護支援事業所に、川越市内で量的に不足していると感じるサービスを聞いたところ、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が際立って多かった。

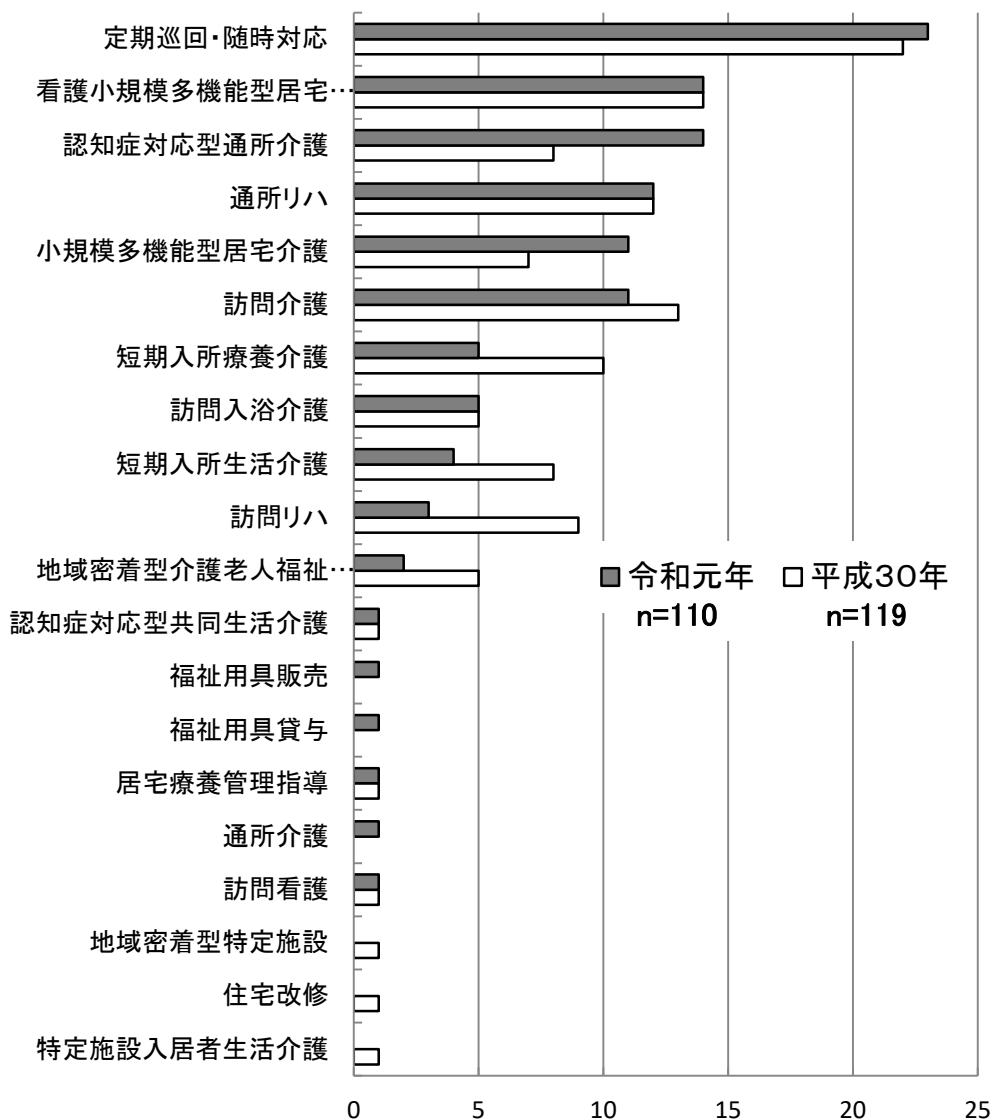
・続いて、看護小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護、通所リハビリテーション、小規模多機能型居宅介護、訪問介護の回答が多かった。

・不足していると感じるサービスが特にないと回答した事業所は7ヶ所あった。

・介護老人福祉施設が不足していると感じたのは1事業所のみだった。

# 居宅介護支援事業所実態調査の見える化

## 量的に不足しているサービス(比較)



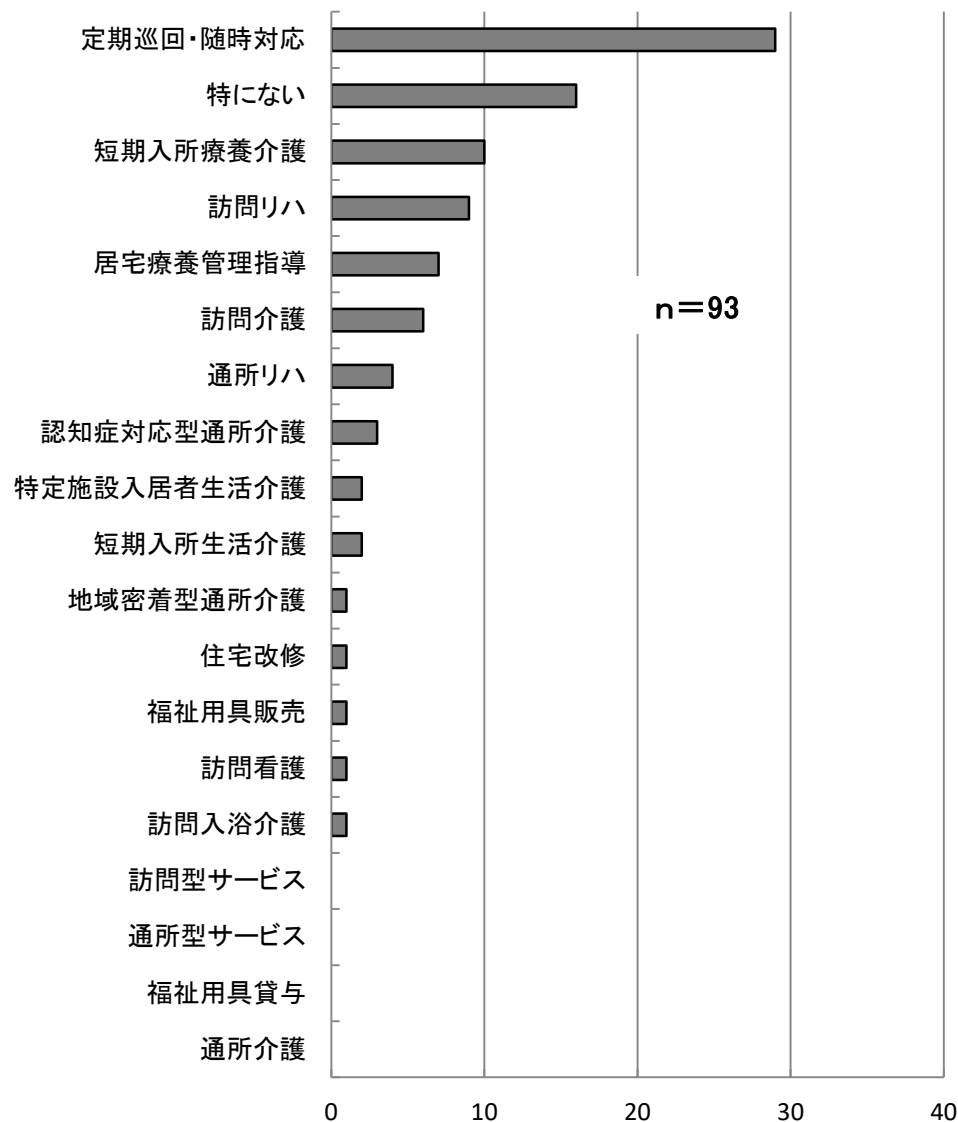
・平成30年の調査と比較したところ、大まかな傾向は変わらず、特に定期巡回・随時対応型訪問介護看護と看護小規模多機能型居宅介護が不足していると感じていることに変わりが無かった。

・今回(令和元年)の調査では、認知症対応型通所介護及び小規模多機能型居宅介護が不足しているとの回答が前回調査よりも増加している。

・逆に短期入所療養介護、短期入所生活介護、訪問リハビリの回答が前回調査よりも減少している。

# 居宅介護支援事業所実態調査の見える化

## ケアプランに組入れにくいサービス

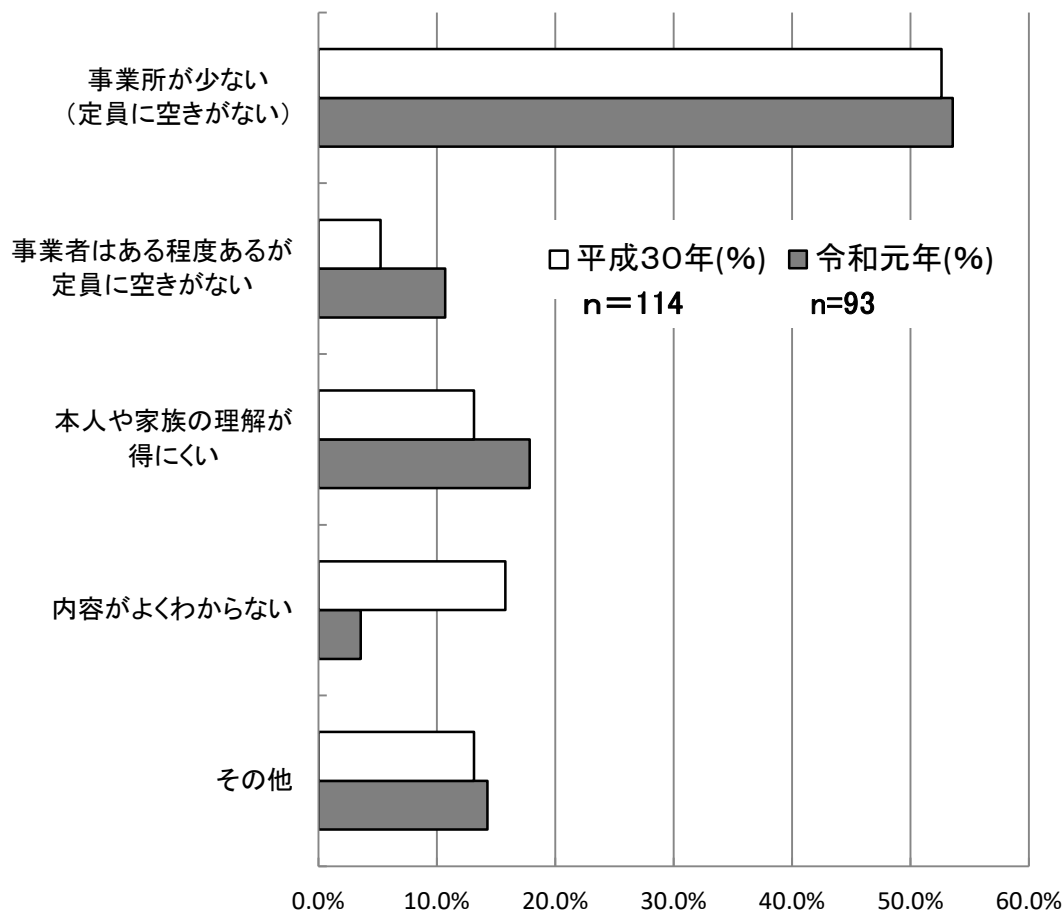


・市内居宅介護支援事業所に、ケアプランに組入れにくいサービスを聞いたところ、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が最も多かった。

・続いて多かったのが”特にない”という回答だったことを考えると、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が際立ってケアプランに組入れにくいと居宅介護支援事業所が感じていることが分かった。

# 居宅介護支援事業所実態調査の見える化

## 定期巡回がケアプランに組入れにくい理由



・定期巡回・随時対応型訪問介護看護がケアプランに組入れにくい理由を聞いたところ、事業所が少ない・定員に空きがないという回答が際立って多かった。

・平成30年の回答と比較すると、本人や家族の理解が得にくいという回答がやや増加した。

・一方、“内容がよくわからない”という回答が前回調査と比較して減少した。

・今回の結果から、ケアマネジャーの定期巡回・随時対応型訪問介護看護に対する理解は進んでいるとも考えられる。